

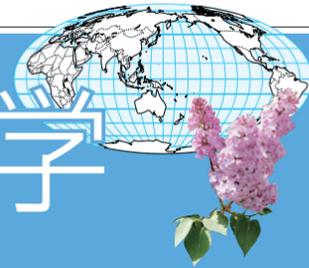
学報

学校法人 北海学園

北海商科大学

アジアの時代に、アジアを学ぶ。

Hokkai School of Commerce Newsletter



Vol.28

2020.5.22

発行:北海商科大学
編集:北海商科大学広報委員会
〒062-8607
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番
TEL:011-841-1161(代)
FAX:011-824-0801
https://www.hokkai.ac.jp
制作:(株)ラボット

主な記事

- 3. 学部長挨拶 2面
- 4. 研究科長・学部長・センター長紹介 2面
- 5. 本学の新型コロナウイルス対応について 2面
- 6. 新型コロナウイルス予防対策 学生の皆さんへ 3面
- 7. カウンセリングルームニュースレター8 3面
- 8. 入試結果概要 4面
- 9. 就職状況について 4面
- 10. 高大連携の成果 4面
- 11. 高校生懸賞作文の募集 4面
- 12. 国際交流事業の現状と見通し 5面
- 13. 留学報告記 5面
- 14. サークル活動紹介 5面
- 15. 社会文化ゼミナール 5面
- 16. 新任教職員紹介 6面
- 17. 新刊紹介 6面
- 18. 大学間い合わせ一覧 6面
- 19. 行事予定 6面



2020年度新入生を迎えて!

令和2年度 入学生に向けて

明日への飛躍を願って 学長 森本 正夫

森本 正夫 学長

新入生の皆さん、本学へのご入学おめでとうございます。

今春は、北海商科大学の新入生228名と、同大学院商学研究科修士課程1名、博士後期課程1名の併せて230名の入学を迎えることとなりました。本来であれば、新入生の皆さんをお迎えして、保護者や関係者の皆様とともに盛大な入学式を挙げる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入学式を中止せざるを得なかったことを大変残念に思っております。以下、入学式の式辞にて、新入生・保護者の皆様にお話ししようと考えておりましたことを述べたいと思っております。

東京以北で最大の都市、人口190万人を擁する札幌市の豊平区で、地下鉄に直結した恵まれた都市環境のもとに開学し、15回目の新入生を迎えることができました。この北海商科大学の新たな歴史は、この度入学された皆さんが、築き上げて行くものです。教職員一同も、優れた成績で入学した皆さんと独自の校風を築いていくことを楽しみにしております。

さて、北海商科大学はまだ歴史の浅い大学ですが、母体である北海学園の歴史は古く、創立は135年前の明治18年、西暦1885年にさかのぼります。現在、北海学園は、北海学園大学と大学院のほか、北海高等学校と北海学園札幌高等学校を設置しており、1万1千名ほどの学生・生徒が日夜、勉学に励み、また課外活動に精を出しています。学園全体の卒業生は17万名を超え、道内はもとより、全国各地、さらに海外でも活躍しております。皆さんは、その北海学園の仲間として迎えられたわけです。

本学では、新しいアジアの時代のグローバル化を見据えた言語・文化・社会及び国際関係を中心に学び幅広い問題意識から商取引やビジネス活動に欠かせない基本となる知識を広く深く学び、経済学部や経営学部とはまた違った実践教育にも力を

入れて展開しております。まずは、皆さんの将来に役に立つ外国語の教育と異文化の理解に力を入れています。本学では、39年の交流実績のあるカナダアルバータ州のレスブリッジ大学、中国沿岸部の風向明媚な地にある山東大学（威海）と煙台大学、韓国の古代百済王国の地にある大田広域市の大田大学校などの姉妹校交流を行ってきました。皆さんは、世界の若者とともに学ぶ機会を得たわけです。

次に、大学とは広く知識を学び、真理を探究するところです。基礎的な教育もあれば専門的な研究もありますが、総じて、教育研究の機関として、人類の学問的文化的遺産を、次の世代に伝達し継承するという、公共性の高い社会的使命を負っています。そうした大学で学ぶことは人格形成にもつながります。そのため本学では多彩なカリキュラムを用意しております。特に、少人数教育を重視し、研究と教育を統合する人材育成プログラムを展開しています。また、語学、情報管理、観光、貿易通商、社会行政などの分野で高度な技能と資格の取得を目指すなど、学問を通して実践的教育を実現して行くカリキュラムを特徴としております。

私は常々、大学教育の真髄は、学問を通じての、教師と学生との人間的一体化であると思っております。ゼミナールでの教授と学生との学問に関するやり取りを通じて、皆さんの人格形成がなされるものと期待しております。歴史ある北海学園の、恵まれた環境の中で、学生生活を大切に、課外活動や社会活動にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。

新入生の皆さんにおかれましては、今日の入学の喜びを忘れず、これからの学生生活に反映させてください。明日への飛躍を確かなものとするよう、皆さんが健康に留意し、精一杯努力することを期待しております。

令和2年4月3日

新入生ガイダンスと 在学生成績優秀者表彰

令和2(2020)年度の入学式は4月3日に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症への対策から中止を余儀なくされました。新入生ガイダンスについても、当初は4月4日に実施する予定でしたが、同感染症への対策から4月6日に日程を移しました。その上で時間も例年は終日開催であったものを午前10時から12時5分までの約2時間に短縮して実施し、新入生は終了後直ちに帰途につきました。ガイダンス会場についても、例年は2号館の5階多目的ホール1ヵ所で行っていましたが、感染症リスクの回避を考慮した結果、今年度は新入生が履修を選択した語学(英語・中国語・韓国語)ごと3ヵ所に会場を分散して実施しました。

また、例年、本学では新2年次と新3年次の学生を対象として、北海商科大学教育振興資金による学業成績優秀学生・課外活動優秀学生表彰を実施しています。令和元(2019)年度においても、学業成績優秀学生として通算GPA(Grade Point Average)ポイントに基づく成績評価の第1位～3位の新2年生3名、新3年生3名を選出し、3月23日に実施するガイダンス時に、学部長より表彰するとともに奨励金を授与する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症対策として、急遽対面でのガイダンスを中止しCoursePowerを使用したオンラインガイダンスに変更したことから、学部長による表彰式は実施できず、対面授業開始後に表彰状を授与することになりました。そうした中であっても授賞された皆さんには、今回の授賞を契機として、今後もモチベーションを一段と高め、学業成績の一層の向上や対外活動で多くの成果をあげられるよう期待しています。(教務センター長 佐藤博樹)



履修登録は各学年とも感染症リスク対策のもとに行われた

令和元年度 学業成績優秀学生表彰者(敬称略)

- | | |
|------|--------------------------|
| 新2年次 | 杉山 みなみ
時田 笑里
高橋 友樹 |
| 新3年次 | 佐藤 綾花
市川 英里香
原田 侑弥 |



令和2年度 学部長挨拶

商学部長 伊藤 昭男



未来に向け、困難をのり越えるために

新生の皆さん、本学へのご入学おめでとうございます。受験という大きな壁をのり越えて、希望を持って本学での学びや学生生活に期待を馳せていることと思います。また在学生の皆さんも新学年を迎え、心新たに大学生活にのぞんでいることでしょう。

本来ならこのような陽春の輝く季節ですが、本学は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大を受け、卒業式の中止、入学式の中止等の対応を行わざるを得ませんでした。

刻々変化する状況に応じた弾力的な対応を行ってきたところ、現在本学内、本学関係者に感染者は発生しておりませんが、感染拡大防止のため、授業開始についても、学生への教育を担保しつつ感染予防に努めるという難しい解決に向け教職員一体となって取り組んできました。

そのような中、4月12日の北海道・札幌市の緊急共同宣言、16日には政府より全国に緊急事態宣言が発出され、北海道は「特定警戒都道府県」に指定されました。当初、5月6日まですべての授業科目において対面授業を行わず、この間はLMS等を活用した授業のみを行い、教室での授業は一切行わないこととしましたが、今後も感染拡大が懸念されているため、引き続き5月31日(日)までLMS (CoursePower) 等を活用した授業を実施、学生の皆さんの登校を極力控えていただくこと(4月27日現在)にいたしました。

本学の教育活動が制限されることは残念ですが、この事態の収束に予測がつかない現在、すべての学生・保護者・教職員の皆さんにおかれは、感染予防と感染拡大防止のために、正確な情報を収集し適切な対応をお願いいたします。皆さん自身の安全のため、全力で感染予防を行ってください。安全で安心できる大学の日常構築に向け、是非ともお願いいたします。

本学の新型コロナウイルス感染への対応について

◆保護者の皆様へ

本学では、新型コロナウイルスの影響拡大に伴い、新生・保護者の皆様の健康面、安全面を考慮し、感染リスクを回避するため、4月3日に札幌ガーデンパレスで予定していました令和2(2020)年度入学式を中止するなど、多くの学事日程を延期、変更をせざるを得ない状況にありますことについて、ご理解をいただきますようお願いいたします。

4月8日からの前期授業の開始につきましても同様に、新型コロナウイルスの影響や社会情勢、文部科学省からの通知を勘案しつつ慎重に検討してまいりましたが、感染防止の観点から新学期開始に関する行事(ガイダンスなど・右下表参照)の変更はやむなしとの結論に至りました。

新学期開始に関する行事(ガイダンスなど)のスケジュールにつきましては、3月下旬発送の「入学式中止および新学期開始に関する行事のご案内」および本学ホームページ等でお知らせいたしましたが、今後はカウンセリングやオンライン授業のための環境整備支援金給付(学生への1人5万円給付、学費延納措置ほか)など、長期に及ぶ学修の困難化に対する様々な支援も行っています(右表参照)。

今後の状況を踏まえた本学の対応につきましては、逐次、本学ホームページ等でお知らせいたします。ご不明の点、お問い合わせにつきましては、窓口(6ページ参照)で対応させていただきますのでご利用ください。(教務センター)

◆学生の皆さんへ 講義について

新型コロナウイルス感染予防と拡大防止のため、刻々変化する感染状況に応じて弾力的な対応を行ってきました。前期の開始にあたっては、3月23日から予定していた従来方式の在学ガイダンスを取りやめてLMS (CoursePower) を用いたオンラインでのガイダンスに変更する一方、前期の授業についても、当初4月8日の開始を予定していたものを4月13日から延期しました。その上で開始後1週間は、学生の皆さんの講義受講に関する不安解消のため、シラバス内容に基づき講義の予定等に関する説明を行い、当面の間、対面授業は見合わせて、原則的にLMS (CoursePower) 等を活用して行う(5月6日まで)という方針で準備を進めてきました。

しかし、4月16日に国の緊急事態宣言が発出され、北海道が「特定警戒都道府県」に指定されたことを受け、本学の感染予防対策をさらに強化する趣旨から、5月31日まですべての授業科目において対面授業を行わないこととし、この間はLMS (CoursePower) 等を活用した遠隔授業のみを行うことにしました(4月27日現在)。

今後につきましては、逐次本学ホームページ<https://www.hokkai.ac>。(学生向け臨時サイト開設 https://www.hokkai.ac.jp/200430_1/)、学内ネットワークを通じてお知らせしますので、常に確認するようにしてください。(教務センター)

研究科長・学部長・センター長紹介

■大学院研究科長	阿部 秀明 教授
■商学部長	伊藤 昭男 教授
■教務センター長	佐藤 博樹 教授
■学術発展センター長	田辺 隆司 教授
■入試・広報センター長	堂徳 将人 教授
■キャリア支援センター長	村松 祐二 教授
■学生支援センター長	大友 秀人 教授
■国際交流センター長	水野 俊平 教授



4月13日の講義開始日において、5月6日まで対面授業を行わない説明がされた

<新型コロナウイルス感染症拡大に関する学生緊急支援について>

北海商科大学は、国の「緊急事態宣言」の発出と北海道の「特定警戒都道府県」への指定、さらに北海道知事による大学休業要請を受け、5月31日まで対面授業を取りやめ、LMS (Course Power) 等を活用した授業を実施します。このような状況を受け学生の皆さんが支障なくLMS授業に取り組めるようまた安心して学業を継続していけるように、以下の緊急支援を致します。(4月30日現在)

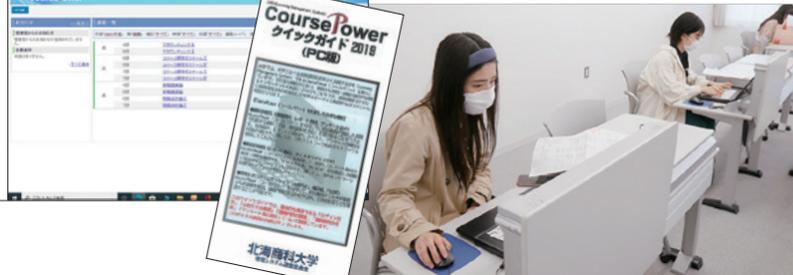
支援項目	支援内容
学生への給付金	オンライン授業のための環境整備支援金の給付について、学生1人当たり5万円を給付します。
学費の延納	納入期限を7月末まで延ばすことができます。
奨学金等の支援	従来からある各種の給付型の奨学金を迅速に活用します。
学生向け連絡サイトの開設	学生に必要な情報をまとめた学生向けの臨時サイトを開設しました。
オンライン授業のサポート	遠隔講義に伴うシステムの操作方法等を大学担当部局がサポートします。
学生のメンタルケア	外出自粛の緊急事態下で心身に不調を感じる学生のメンタルケアのため、カウンセリングルーム電話相談を開設します。

<学事日程・活動などの対応について> (4月30日現在)

	行事・課外活動など	期日	対応	内容
1	交換留学生修了式	2月20日(木)	中止	
2	卒業証書・学位記授与式／卒業生を送る会	3月18日(水)	中止	
3	新3年次ガイダンス／新2年次ガイダンス	3月23日(月)	中止	CoursePowerでガイダンス資料を公開
4	新4年次ガイダンス	3月24日(火)	中止	CoursePowerでガイダンス資料を公開
5	入学式	4月3日(金)	中止	
6	新生オリエンテーション	4月4日(土)～7日(火)	変更	4月6日(月)に延期／7日(火)履修登録
7	前期授業開始	4月8日(水)	延期	4月14日～5月31日まで対面授業は行わず、LMS(CoursePower)等を活用した授業とする
8	交換留学生歓迎交流会	4月11日(土)	中止	
9	前期公開講座	5月～7月	中止	後期公開講座については、ホームページなどで案内
10	オープンキャンパス	6月21日(日)	予定	ホームページで案内
11	図書館		開館	学内立ち入り同様措置。不急の利用を控える
12	コンピュータ教室		利用申し込み制	CoursePowerで予約のうえ、授業受講のため利用可
13	サークル活動・懇親会など	当面の間	中止	



CoursePowerのモニター画面



◆新型コロナウイルス感染症の予防対策について 学生の皆さんへ 医務室

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、不安な生活を送っていることと思います。大学生・大学院生の年代では、重症化する例もある一方、感染してもほとんど症状が出ないことも少なくありません。つまり症状がなくても感染しているリスクが、自分にも周りにも常にあります。まずは、正確な情報を知り、一人ひとりが「うつらない」「うつさない」ための対策を行いましょ。

1. 3つの『密』を避けましょ

日々の生活の中で、意識して、この3つの密が重ならないように工夫して過ごましょ。

- ①換気の悪い密閉空間
 - ・窓のある環境では、可能であれば2方向の窓を同時に開け、換気をましょ。
- ②多くの人の密集する場所
 - ・お互いの距離を2メートル程度（互いに手を伸ばして届かない十分な距離）開けましょ。
 - ・飲食の際は、真向かいに座らず、互い違いに座るようにましょ。
- ③近距離での密接会話
 - ・やむを得ず近距離での会話が必要な場合には、マスクを着用ましょ。
 - ・密集空間（エレベーターや電車の中など）では話さないようにましょ。

＜体調不良や新型コロナウイルス感染症を疑う症状が出た場合＞

1. 体調不良（咳・発熱・節々の痛み・だるさ・においや味などの異常、下痢等）がある場合は登校を控え自宅で静養
 - ◎毎身体温を計測（朝夕2回以上）
 - 症状とともに記録（体調管理票あり）
 - ◎必要に応じてかかりつけ医に電話相談のうえ医療機関を受診
 - ※発熱や全身倦怠感については薬（風邪薬や解熱剤）を飲まなくなった日から2日を経過後登校可能
 - ※発熱等が収まり、48時間発熱がないことを確認後に登校
2. 下記の症状がある場合は「札幌市保健所（救急安心センターさっぽろ011-272-7119（#7119）」に相談し、指示に従って医療機関を受診、医務室に連絡
 - ◎息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - ◎重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
 - ※基礎疾患（糖尿病・心不全・呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など））のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
 - ◎上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）
3. 新型コロナウイルス感染症と診断された場合
 - ◎学校保健安全法第19条の規定により登校停止
 - 登校停止の期間は「治癒するまで」

2. 手洗いと咳エチケット

外出先からの帰宅時や登校時、食事前など、こまめに手を洗う事が大切です。手洗いの原則は水道水と石けんによる手洗いですが、外出先などで難しければアルコール消毒液を使用ましょ。



《咳エチケットについて》

咳やくしゃみをする際は、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って口や鼻をおさましょ。



- 登校再開にあたっては、治癒し登校に支障がないことを証明する医療機関の診断書提出
- ◎《大学への報告の徹底》
 感染の拡大を防止する措置の必要から、下記内容を速やかに医務室に連絡
 - ① 診断日
 - ② 受診した医療機関
 - ③ 現在の状況
 - ④ 発熱及び咳などの呼吸器症状が現れた日
 - ⑤ 診断日前1ヶ月以内における外国への渡航歴の有無（渡航歴がある場合は、期間・国名及び都市名）
 - ⑥ 症状が現れた日以降の本学関係者との接触の状況（授業等への出席状況など）
 - ⑦ 今後の見通し等に係る医師等の所見

4. 濃厚接触者となった場合について

- ◎感染者と接触した日から14日間の自宅待機。その間、毎日朝・夜に体温を測るなどの健康状態に注意を払い、37.5℃以上の発熱かつ急性呼吸器症状が出た場合には、医療機関受診前に保健所等の相談窓口へ相談するとともに、医務室へ連絡（厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルス感染症について「家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」参照）
 - ※「濃厚接触者」とは
 - ①新型コロナウイルス感染症が疑われる者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む。）があった者
 - ②適切な感染防護無しに新型コロナウイルス感染症が疑われる患者を診察、看護若しくは介護していた者
 - ③新型コロナウイルス感染症が疑われる者の気道分泌液若しくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者

《健康状態のチェック》

体調に変わりがないか、日々チェックをすることも大切です。
 ・毎日、決まった時間に体温を測る ・咳や痰などの症状がないか
 ・倦怠感はないか ・においや味などの感覚に変化はないか
 ・喉の痛み、頭痛のあるなし

※日々の健康状態のチェックや体温の記録に、【体調管理票】（ホームページよりダウンロード可能）もご活用ください。

https://www.hokkai.ac.jp/wp-content/uploads/corona_0402_2.pdf



項目	体調管理票								経過
	1	2	3	4	5	6	7	8	
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	
咳									
痰									
だるさ									
発熱									
その他									

次の症状がある方は「保健所・保健センター」にご相談ください
 ・発熱の症状が3日以上続く場合
 ・強いだるさや倦怠感がある

◎体調管理票

@カウンセリングルームニュースレター 8



「今だからできることを」

カウンセリングルーム
 小林 美穂子（臨床心理士・公認心理師）



コロナの影響で、生活のスタイルがガラッと変わりましたね。「普通に」誰かとお飯を食べに行くこと、「普通に」学校に行くこと、「普通に」遊ぶこと、「普通に」バイトすることなど、例を挙げだしたらキリがないですけど、当たり前でできていたことのほとんどが制限されるようになりました。このような状況では、不安になったり、イライラしたりするのは、ある意味当然なことですが、できればこのような感情にのみこまれないようにしたいものです。以下に、心身のバランスを保つために役に立つヒントをご紹介します。

- ・情報をもく入れすぎない
 心配であれこれと情報を集めると、正しくない情報も入ってきて反対に不安になってしまふこともあります。情報過多による「コロナ疲れ」を防ぐために、情報収集は時間を区切ってやることをお勧めましょ。
- ・健康管理に気をつける
 心身のバランスを保つためのキーワードは、睡眠・食事・運動です。規則正しい生活をして、バランスよく食べる。また、じっとしていると気分も滅入りますし、外出自粛でコロナ太りも気になるころです。自宅でストレッチをしたり、気分転換に散歩をするなどして体を動かましょ。
- ・今だからこそできることにチャレンジしてみる
 例えば、前々から読もうと思っていた長編に取り組む、食べたい料理を作ってみる、筋トレで鍛える、断捨離・掃除など。できないことを考えるより、身近にできることを探して、日常生活を楽しむ工夫をましょ。以前からやりたいと思っていたながら、なかなか手をつけられなかったことはありませんか？今こそ、着手するチャンスかもしれません。事態が収束したときに、「あの時、時間があつたからこそ逆にこんなことができた」というように振り返れたらいいですね！

カウンセリングルームの面談方法は当面、対面式ではなく電話でのやりとりになります。話をするだけでも気が楽になることもあります。どんな悩みでも、一人で抱え込まないで気軽に連絡してください。お待ちしております。

◆カウンセリングルームの利用方法

利用時間：[火曜日] 13:00～17:00

まずは、メールで予約をしてください。

E-mail: soudan@hokkai.ac.jp

予約の際は、①氏名 ②学籍番号 ③希望日時 ④電話番号 をお知らせください。その際、差し支えなければ簡単な相談内容も書き添えてください。折り返し、相談日時などについてのメールをさしあげましょ。

2020年 入試結果概要

本年度の入試は、全国的に一層進む少子化の影響を受けるとともに、高大接続の一体的な改革の下で大学入試センター試験等の従来の入試制度が最終年度を迎える中での実施となりました。一方、「アジアの時代にアジアを学ぶ」を掲げる本学では、インバウンドの拡大が続く中、国際ビジネスや国際観光が学べる大学として注目を集める場面も見受けられました。

こうした状況にあつて、本学では一般入試、センター試験利用入試、推薦入試を合わせた志願者が540名となり、前年の449名から96名(20%)増となつて、過去10年間で最も多くなりました。また、入学定員180名に対する倍率は3.0倍(前年2.5倍)となつて、入学定員が180名に増加した2015年度以来最も高くなりました。

一般入試では、3教科3科目(2月8日)入試と2教科2科目(2月13日)入試を合わせて171名(前年130名)の出願となり、平均得点率は63%、志願倍率は2.3倍(前年1.7倍)、実質競争倍率は1.4倍(前年1.1倍)となりました。

センター試験利用入試では、I期・II期の出願者合計が251名(前年200名)と過去最多となりました。内訳では、3教科3科目(I期)入試は230名(前年178名)と過去最多の出願者数となり、志願倍率15.4倍(前年11.9倍)、実質倍率1.4倍(前年1.1倍)、合否ラインの得点率は前年と比べ、8.3%上昇しました。2教科2科目(II期)入試では21名(前年22名)が出願し、合否ラインの得点率は74.5%(前年68%)となりました。

特別入試では、指定校推薦入試において58名(前年52名)、公募推薦入試(I期・II期)において37名(前年29名)、併設校推薦入試において23名(前年38名)、合計118名(前年119名)と多くの出願がありました。

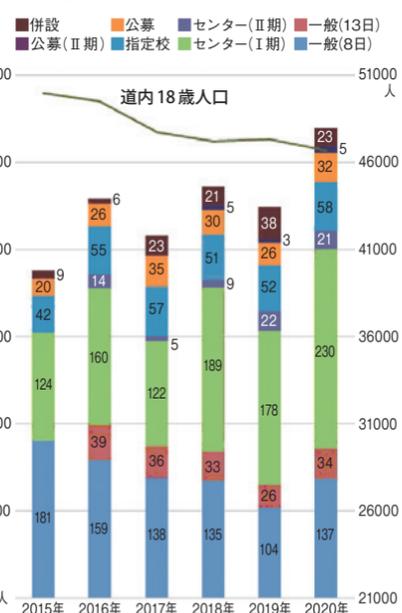
本年度入試結果の大きな特色には、全ての入試区分に於いて多くの出願者を得たことがあります。特に、センター試験利用入試では、合格者の平均得点率、合否ラインの得点率が大きく上昇するとともに、入学手続率が35%へと上昇し、実際に入学した学生が53名となりました。

その結果、入学者は228名と想定を大きく上回りましたが、入学生に実施したアンケートでは、本学への入学を決めた理由では「商学が学べる」「留学できる」「北海学園の系列校」が、学生生活の期待では「外国語の授業」「資格取得」などが多く見られ、入学者が本学の共学ポリシーに共感し、高い意欲を有することが窺われます。また、本学の情報収集としては「大学案内」に次いで、昨年度来学者数が過去最多となった「オープンキャンパス」や「高校からの勧め」などが多く見られました。

本年度は新入試制度の円滑な実施と広報の充実を図りたいと思います。

(入試・広報センター長 堂徳将人)

<本学の入試における志願者推移>



高大連携の成果

高大連携の必要性や重要性が強調されて久しいですが、動もすれば、一方的かつ単調な活動に陥りがちなところ、大学からのみの情報発信に特化することなく、令和元年度の“高大連携”活動は、成功をおさめることができました。すなわち、インタラクティブ(相互交流)な活動であったと自負しています。これも、講師を務めていただきました先生方および関係職員のご尽力の賜物と、感謝の念でいっぱいです。

特に、平成30(2018)年12月25日に連携協定を締結した北海道札幌国際情報高等学校にあつては、令和元年度は、初年度の活動ということもあり、模索しながらの一年でありましたが、他大学との差別化を図るなど特色ある実施内容とすることができました。

<高大連携教育講座(札幌国際情報高等学校)>

シリーズ	回	開催日	テーマ	担当教員
3年生対象: 「東アジア研究 と日本理解」	第1回	10月1日	世界経済の長期的展望と100年時代対応	伊藤昭男教授
	第2回	10月15日	アプリ決済大国・中国	山田勅之教授
	第3回	11月5日	アジアの再興とニーダムの謎	舩田佳准准教授
	第4回	11月26日	日本理解から世界へ—旅と物語—	保坂智講師
1年生対象: グローバル ビジネス科向け		11月27日	「モノの流れ」で繋がる北海道と全国各地	相浦宣徳教授

さらには、高校生が大学で学ぶ機会として、専門講師陣による本格的な中国語と韓国語の学習機会の提供など、多彩なメニューをお届けすることができました。

○具体的な成果

中国語(HSK) 5名受験(2級4名、3級1名合格)

韓国語(TOPIK) 2名受験(1名初級合格)

こうした成果は、提携校(北海道札幌国際情報高等学校)においても、『令和元年度 高大連携教育講座について』としてトピック記事がWebページ上に掲載されるなど、提携校にとっても裨りある有意な活動であったものと確信しています。本年度、同校から入学した新入生3名に聞いたところ、2名が語学の授業を頑張りたいと答え、また、2名が教職課程を履修して将来は高校の商業科教員を目指すとしています。さらに、1名は卒業後に本学の大学院にてビジネスを専攻して専門的な学びを深めたいなど、高い学習意欲がみられます。今後も、本学にとっての高大連携の必要性や重要性の認識を教職員全体で共有するとともに、一部の特化したスタッフによる偏った活動となることなく、全学の活動として認識していただき、「ONE TEAM」の精神をもって持続可能な高校と大学の双方にとっての一層の充実した活動となることを強く望みます。(2019年度入試委員 伊藤寛幸)

高校生懸賞作文の募集

北海商科大学で北海道内の高校生を対象とした懸賞作文の募集は、今年度で7回をむかえます。これは、高校生の鋭い観察眼で現代の市場、マーケティングに関心を持って頂くことを主旨として平成24(2012)年度より実施していて、例年道内各地の高校から応募があります。

作文のテーマは、「①日本も含めアジアの人たちに広く薦

2019・2020年度 就職状況について

令和2(2020)年3月卒業者の就職状況もここ数年続いている好調な結果となっています。多くの内定時期が新型コロナウイルスの感染拡大が起きる前であったため、影響は軽微です。また感染拡大による内定取り消し等も、本学に限っては確認されませんでした。卒業者の3月末最終決定状況は、卒業式中止の影響で最終決定者の把握から5名の漏れが生じましたが、(5名が就活継続中と仮定し)商学部全体で95.8%の就職決定率となりました。学科別では商学科94.7%、観光産業学科98.2%となっています。具体的就職先では卸売・小売が多く、これに情報通信、不動産・物品賃貸、運輸(郵便を含む)、金融・保険が続きます。本社所在地は石狩管内を中心とする道内が6割以上となっています。

令和3(2021)年3月卒業者の採用活動は2月頃まで昨年同様の展開がみられましたが、その後の新型コロナウイルス感染拡大にともなう社会的対応の広がりにより、3月頃から特に合同企業説明会の中止が各地で相次ぎました。ただしネット経由の会社説明会参加申込や募集へのエントリーはこれまでどおりです。また春以降は企業単独の小規模説明会やオンライン説明会が増え、その延長で学生選考が進められているようです。年間の採用日程は遅れてますが、今のところ一部業種を除き大きな変更は少ないようなので、5月後半頃から内定が増え始めるとみられます。今後の状況次第ですが、引き続き採用情報に注意してください。

ところでキャリア支援センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1階事務室カウンターでの就活相談受付を当分の間基本的に控えることといたしました。代って相談等はキャリア支援センターのEメールアドレス(hsc-career@hokkai.ac.jp)へ連絡してください。(キャリア支援センター長 村松祐二)

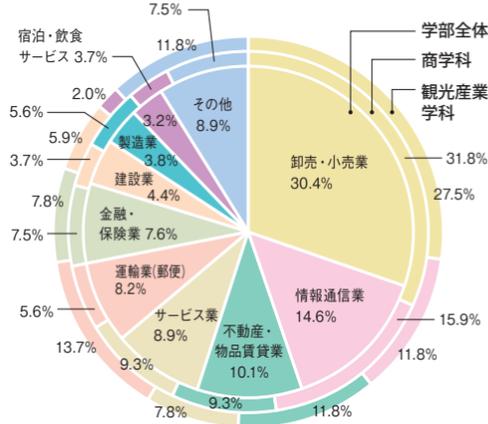


北海学園大学との合同学内業界研究会(2月)

2020年3月卒/業種別就職状況

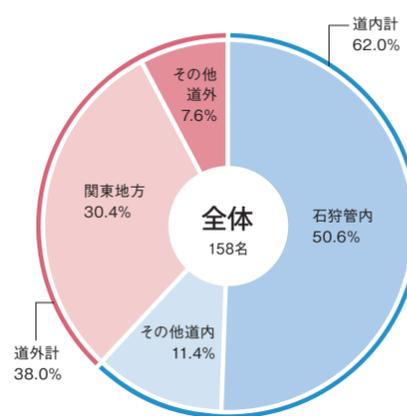
(割合は四捨五入による)

円グラフ内側から、学部全体、商学科、観光産業学科



2020年3月卒/ 本社所在地別就職状況

(割合は四捨五入による)



昨年度の高校生懸賞作文表彰式



めたい私のまちの観光スポット」「②日本も含めアジアの人たちに広く薦めたい私のまちのグルメ」「③日本も含めアジアの人たちに広く薦めたい私のまちのお土産」の中からひとつを選んでいただきます。

締め切りは令和2(2020)年9月26日(出)です。応募要項、パンフレットは6月下旬頃に道内の高校に郵送するとともに本学のホームページでもお知らせします。

入賞者には表彰状と副賞(図書券1位3万円、2位2万円、3位1万円)が渡されます。お知り合いの方に高校生がいらっしゃる場合は是非ご案内ください。(入試・広報副センター長)

2020年度 国際交流事業の現状と見通し

世界的な新型コロナウイルス感染拡大状況の中、国家間の往来が制限され本学の国際交流プログラムにも大きな影響が出ています。2月の令和元(2019)年度交換留学生修了式が中止を余儀なくされ、本学の令和2(2020)年度国際交流プログラムについても、中止、または実施未確定になっています。本学と海外の教育交流提携大学との実践教育を志望動機として入学された新入生の皆さんも多いと思いますが、交流プログラムの実施の可否が分かり次第速やかにお伝えいたします。また、長期留学を志す学生のみなさんの渡航準備にも影響が出ています。大学との連絡を密接にとり、適切な行動を取っていただくようお願いいたします。(国際交流センター長 水野俊平)

<p><交換留学生派遣> (9月~2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中国・煙台大学 山東大学威海校 ◆韓国・大田大学校 ・共に未定 (検討中 5月に方向性発表) 	<p><夏季交換研修派遣> (9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆カナダ・レスブリッジ大学 ・未定 (協議中)
<p><交換留学生受け入れ> (4月~3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中国・煙台大学 山東大学威海校 ◆韓国・大田大学校 ・後期の可能性 ・中止 ・来年に延期 	<p><交換教員受け入れ> (4月~3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中国・煙台大学1名 山東大学威海校1名 ・共に未定 準備中

*4月27日現在

本学には、軟式野球、フットサル、陸上競技、バレーボール、テニス、バスケットボールの体育系サークルと、中国語、韓国語、英語の語学サークル、教育、ツーリズムの研究会、環境ボランティア、軽音サークル、そしてサークル連合などの運営団体2団体が活動を行なっています(※2020年度は英語と環境ボランティアは活動休止中)。令和2(2020)年度のサークルPR活動は、新型コロナウイルス感染予防のため再開の目処が立つまで自粛し、新入生へのPR活動も玄関ホールでの掲示のみとなりました。

サークル活動などを通じて、色々な人たちと出会い、よりよい人間関係を築くことは、社会へ出る第一歩ともいえます。また、勉強だけでなく、何か一つ打ち込むことができるものを身に付ける手がかりになるかもしれません。こうした活動を通じて、大学での充実した生活を送り成長していただきたいと願っております。(学生支援センター長 大友秀人)

令和2年度 サークル・運営団体一覧	
文化 英語サークル(休止中)	体育 テニスサークル
文化 環境ボランティアサークル(休止中)	体育 軟式野球部
文化 韓国語サークル	体育 バスケットボールサークル
文化 教育研究会	体育 バレーボールサークル
文化 軽音サークル(HARZION)	体育 フットサル部(REGISTA)
文化 中国語サークル	体育 陸上競技部
文化 ツーリズム研究会	各種団体 サークル連合執行部
	各種団体 体育祭・大学祭実行委員会

2020年度 社会文化ゼミナール

商学部1年生を対象とする「社会文化ゼミナール」は、2020年度から授業内容を刷新し、大学での学び方や将来の目標設定の考え方を学び、少人数の授業で新入生同士や教員との人間関係の構築を目指す初年次教育として再スタートしました。新型コロナウイルス感染防止のため、5月からコースパワーとグーグルクラスルームを活用したオンライン授業を行っています。新1年生の履修者はオンラインで、キャリアプランや文献講読の課題に熱心に取り組んでいます。

新年度からの社会文化ゼミは、商学部の教員9人が「キャリアプラン(将来の目標設定)」「リーディング・ライティング(学術的文章の講読と執筆)」「プレゼンテーション(口頭発表)」の3部に分かれて授業を行います。キャリアプランでは、大学生としての将来計画の立て方や批判的思考、ワークライフバランスについて学びます。リーディング・ライティングでは、大学の学部レベルの授業で用いる複数の論文を批判的に読解し、自分の主張を論理的に明示した文章を書く手法を学びます。プレゼンテーションでは、書籍や新聞雑誌、インターネットなど各種メディアを活用した情報収集の手法を学んだ上で、資料作成から口頭発表までを行います。

●2020年度前期「社会文化ゼミ」のおもな授業内容

テーマ	授業のおもな内容	2020年度担当教員
キャリアプラン	動機づけ理論から考える目的と目標 大学生としてのキャリアプラン	柳川、玉井、李炯直
リーディング・ライティング	賛否が対立するテキストの批判的読解 パラグラフライティング	竹野、保坂、見附
プレゼンテーション	メディアリテラシー、プレゼンテーションの実施	原子、舛田、佐藤千歳

留学報告記

●商学部2年 大山 翠



私は、中国の煙台大学で約半年間留学を経験しました。最初は言葉もわからなく、ほとんどのことが初めてのことで大変なこともありましたが、それでも町の人が簡単な言葉で説明してくれたり、優しい人が多く中国での生活に慣れていきました。また、青島に遊びに行ったり、韓国の留学生と一緒に食事に行ったり、中国の友人とカフェで勉強したり遊園地に行ったりとたくさんの思い出ができました。実際に留学に行ったことで勉強だけではなく現地の方のやさしさに触れたこと、新しい環境の中でいろいろなことに挑戦できたことはとても良い経験になりました。また、自分から積極的に行動することの大切さも学びました。留学で得た経験を元に中国語の勉強を頑張っていきたいと思います。



韓国の留学生や中国の友人たちとの記念写真です。

●商学部2年 中西 夏音



私は約半年、中国・山東大学威海校に留学しました。勉強はもちろん大学の友達とご飯を食べに行ったり韓国からの留学生に韓国語を教わってもらったり、留学したからこそ得た時間を過ごしました。ですが楽しいことだけではなく、HSK模擬テストの点数が中々伸びずに悩んだ日もありました。今では自分に自信をくれる経験になっています。これからは中国語の向上に努め、授業を通してさらに中国に触れていきたいと思っています。また、人として成長出来る時間をくれた親や大学の先生方に感謝しています。留学の経験が無駄にならない大学生活を送りたいと思います。留学を考えている方は是非「行く」決断をして貴重な体験をしてほしいと思います。



留学の仲間たちと万里の長城に行った時の写真です。ずっと先まで続く絶景を撮りました。

●商学部2年 國枝 梨花



私は8月から約5か月間韓国の大田大学校へ留学をしました。日本で韓国語を勉強するよりも韓国で韓国人から学ぶほうが身につくし、分からない文法や単語が多いほど自分で自主的に勉強するようになるので今回の留学でも韓国語への理解が深まったと思います。授業が12時で終わるので、みんなで一緒にお昼を食べたり、午後からショッピングしに行ったりできる時間が多くて充実した留学生活が送れたと思います。留学で学んだことを忘れずこれからも楽しく過ごしていこうと思います。



日帰りのMT(MEMBERSHIP TRAINING=研修旅行)で全州へ行き、中国人留学生や友人たちと韓服を着て記念写真(後列右端が國枝さん)を撮りました。

新任教職員



■新任教員
高宮城 朝則
タカミヤギ トモノリ
教授

小樽商科大学を定年退職し、このたび本学で教鞭を執る機会を得ました。マーケティング・流通論関連の授業を担当します。専門は流通システム論で、これまで卸売業や地域企業のマーケティングを研究してきました。前任の小堀雅浩先生とはかつて共同研究をしたことがあり、本学に参りましたのはそのご縁だと思っています。

学生の皆さんには身近なことからマーケティング・流通の面白さを感じてもらおうような授業をするつもりです。



■新任教員
深澤 史樹
フカザワ フミキ
准教授

今日、日本が抱える「課題先進国」から「課題解決先進国」へと転換するためには、「グローバル」な視点が重要です。そのためには地域資源（自然・循環資源、社会・人的資源など）を再定義し、理論的考察と実証分析により地域経済の再生に寄与する研究を行っております。

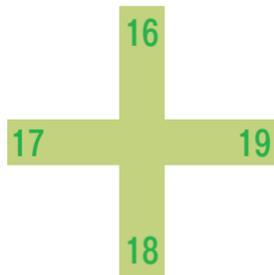
担当講義は、「経済システム理論Ⅰ・Ⅱ」、「経済理論A・B」等です。本学へ入学して良かったと言って卒業できるようサポートして参りたいと思います。



■新任職員
引谷 俊彦
ヒキヤ トシヒコ
主任

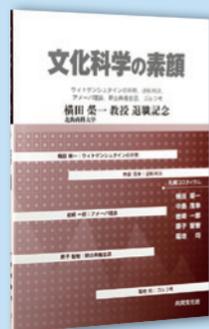
平成17(2005)年3月に北海学園大学人文学部英米文化学科を卒業し、3月まで北海高等学校事務室に勤務していました。入試・広報担当として北海商科大学の魅力、より多くの人にわかりやすくPRすることによって学生や卒業生の皆さんに貢献したいです。

1階の事務室にいますので、困った事や相談事があればいつでも気軽に声をかけてください。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。



● 新刊紹介 ●

「文化科学の素顔」横田先生退職記念
原子智樹・横田榮一・菊地均・中島茂幸・
岩崎一郎 共著(いずれも現・元本学教員)
2020年2月/共同文化社



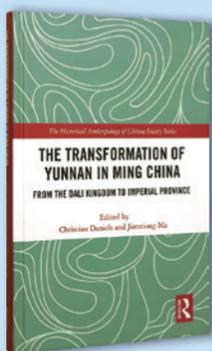
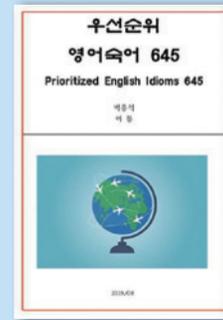
「社会に開かれた教育課程」を実現する高校
堂徳将人(本学教員) 他編著
2019年12月/学事出版



優先順位英語熟語645 (Prioritized English Idioms 645) (日本語版)
Bong Lee(本学教員)他1共著
2019年7月/Kindle 電子書籍



優先順位英語熟語645 (Prioritized English Idioms 645) (韓国語版)
Bong Lee(本学教員)他1共著
2019年8月/Kyobobook



The Transformation of Yunnan in Ming China
山田勅之(本学教員) 他共著
2019年11月/Routledge



よくわかる現代中国政治
佐藤千歳(本学教員)他共著
2020年4月/ミネルヴァ書房

新版 テキストブック公民教育
日本公民教育学会編
堂徳将人(本学教員)他共著
2019年12月/第一学習社



● 大学問い合わせ先一覧 ●

大学へのお問い合わせは下記までお願い致します。

■ 本学連絡先(代表) 011-841-1161 (受付時間詳細は右下部の通り)

問い合わせ・内容	担当部署	内線
健康管理(ヘルスケア・メンタルケア)に関する事	医務室	8111
入学者選抜試験・入学手続きに関する事 ■オープンキャンパス・キャンパス見学に関する事 ■入試・広報に関する事 ■高大連携事業・高校生懸賞作文・出前講義に関する事	入試・広報センター	8104
講義・履修に関する事 ■試験・成績に関する事 ■休学・復学・退学など学籍に関する事 ■諸願・諸証明書に関する事 ■学内ネットワーク・本学ホームページに関する事 ■大学院に関する事	教務センター(大学院担当)	8107
留学・国際交流に関する事	国際交流センター	8107
学生生活全般に関する事 ■奨学金に関する事 ■定期健康診断に関する事 ■課外活動に関する事 ■アルバイト求人に関する事	学生支援センター	8117
就職及び進路全般に関する事 ■求人・インターンシップに関する事	キャリア支援センター	8104
公開講座・産学連携に関する事	学術発展センター	8108
図書館の利用に関する事	図書館	8121
大学全体に関する事(取材・広報全般) ■授業料などに関する事 ■施設・設備等に関する事	事務部 庶務・会計	8116

行事予定表 (2020年5月1日現在)

6/1 ㊟	対面授業開始(予定)	9/18 ㊟	4年次履修登録
6/17 ㊟~7/1 ㊟	2年次「志望学科届」回答期間(予定)	9/19 ㊟	全学年履修登録訂正日①
6/21 ㊟	第1回オープンキャンパス(予定)	9/20 ㊟	第3回オープンキャンパス
7/1 ㊟	2年次「志望学科届」提出締切(予定)	9/23 ㊟	全学年履修登録訂正日②
7/18 ㊟・19 ㊟	第2回オープンキャンパス(予定)	9/24 ㊟・25 ㊟	北海商科祭準備日(予定)
8/3 ㊟	振替講義日(水曜日)、前期講義終了	9/26 ㊟	北海商科祭(予定)
8/4 ㊟・5 ㊟	調整日(予定)		高校生懸賞作文募集締切日
8/6 ㊟	夏季休業開始	9/28 ㊟	後期講義開始
8/7 ㊟・8 ㊟	前期成績開示	10/24 ㊟	総合型選抜Ⅰ期試験準備日(予定)
	成績・採点異議申し立て受付	10/25 ㊟	総合型選抜Ⅰ期試験日
8/13 ㊟~16 ㊟	全学休業日	11/14 ㊟	後期修学指導面談①(予定)
9/12 ㊟	2年次所属学科発表	11/21 ㊟	学校推薦型選抜試験準備日
	前期修学指導面談②(予定)	11/22 ㊟	学校推薦型(指定校制、公募制)選抜試験
9/13 ㊟	夏季休業終了	11/27 ㊟	振替講義日(月曜日)
9/14 ㊟	ガイダンス(3年次、2年次)	12/20 ㊟	総合型選抜Ⅱ期試験日
9/15 ㊟	ガイダンス(1年次、4年次)	12/26 ㊟	冬季休業開始
9/16 ㊟	1年次履修登録	2021/1/7 ㊟	冬季休業終了
9/17 ㊟	履修登録(2年次、3年次)		

《大学問い合わせ受付時間》

月~金 9:00~16:00 (12:40~13:30を除く)

土 9:00~12:40

但し、日祝日・創立記念日(5/16)・夏季休業(8月中旬)・年末年始は除きます。

*新型コロナウイルス感染拡大による影響で記事の掲載内容に変更が生じる場合があります。随時大学ホームページ (<https://www.hokkai.ac.jp/>) でご確認ください。